UNI-PEX

取扱説明書（保証書付）

業務用ミキサーユニット

RUX-3210

このたびは、業務用ミキサーユニットをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
組込みご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
この取扱説明書はお読みになりましたら大切に保管し、後日分からないことがあれば再びご覧ください。

○本機はユニペックス ラックシステム組込用のミキサーユニットです。
○別売ユニットを組み込むことができます。
・FM/AMラジオチューナーユニット（AU-100）・CDプレーヤーユニット（AU-203）
・プログラムチャイムユニット（AU-403）・SDレコーダーユニット（AU-500）
・300MHz帯ワイヤレスチューナーユニット（AU-300）・800MHz帯ダイバシティワイヤレスチューナーユニット（AU-800）
○ラック取付方法は、EIAサイズラック取扱説明書をご覧ください。

目次

安全上のご注意・・・

⚠警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

異常が起きたときは、ただちに使用をやめる

煙が出ている、においや音がする、水や異物が入った、落として破損したなど、火災・感電の原因となります。ただちに電源プラグをコンセントから抜いて、販売店などにご連絡ください。

分解／改造はしない

火災・感電の原因となります。修理や点検は、販売店などにご依頼ください。

異物を入れない／濡らさない

水や金属が内部に入ると、火災・感電の原因となります。ただちに電源プラグをコンセントから抜いて、販売店などにご連絡ください。

この機器の上に花瓶など水の入ったものを置かない

こぼれたり中に水が入った場合、火災・感電の原因となります。

この機器の上にろうそく等の炎が発生しているものを置かない

火災の原因となります。

通風孔をふさがない

通風孔をふさぐ、ものをのせたり通風を悪くすると内部に熱がこもり火災の原因となります。

電源コードを傷つけない

電源コードの上に重いものをのせたり、無理に曲げたり、ねじったり、引張ったりすると、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線)販売店などに交換をご依頼ください。

表示された電源電圧以外の電圧で使用しない

火災・感電の原因となります。

雷が鳴り出したら、接続コードや電源プラグには触れない

感電の原因となります。

ラックにマウントする際はラックの説明に従って金具類を正しく使用し、固定してください。取付けに不備があると落下したりしてけがの原因となります。

⚠注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たるような場所に置かない

火災・感電の原因となることがあります。

不安定な場所に置かない

落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

工事は工事店に依頼する

工事には、技術と経験が必要です。火災・感電、けが、器物損壊の原因となります。工事店にご相談ください。

異常に温度が高くなる場所に放置しない

窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く

火災の原因となることがあります。

お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜く

感電の原因となることがあります。

電源を入れる前には音量を最小にする

突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。

⚠注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

電源コード、スピーカーコードを熱器具に近づけない
コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

長時間音が歪んだ状態で使わない
スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

濡れた手で、電源コードを抜き差ししない
感電の原因となります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない
コードが傷つき、火災、感電の原因となります。必ずプラグを持って抜いてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む
差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。

移動するときは、コード類を傷つけない
移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

この機器に乗ったり腰掛けたりしない
特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。

オーディオ機器、外部スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。

1年に一度くらいは内部の掃除を工事店などにご相談ください。内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨時の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については工事店などにご相談ください。

設置・使用上のご注意

●入力線と出力線は近づけますと発振する恐れがありますので、できるだけ離して配線してください。
●EIAラックに組み込む場合は、本機の上下段には必ず、1U以上の間隔を開けてください。
別売の換気パネル RIB-1F（別売品）などを取り付けることをおすすめします。
●次のような場所では使用しないでください。誤動作、故障、漏電の原因になります。
・使用温度範囲をこえる場所／使用湿度範囲をこえる場所／屋外などの雨や日光に直接当たる場所／結露が生じる場所／亜硫酸ガスやアンモニアなどの腐食性ガスが発生する場所／激しい振動や衝撃が発生する場所
●本機を雑音発生の原因になる機器※の近くには設置しないでください。
※高周波機器（乾燥機、医療機器など）、電気溶接機、ブラッシングモーター、自動車の通る道、携帯電話機、デジタル機器（コンピューター、電子楽器など）、空気清浄器。

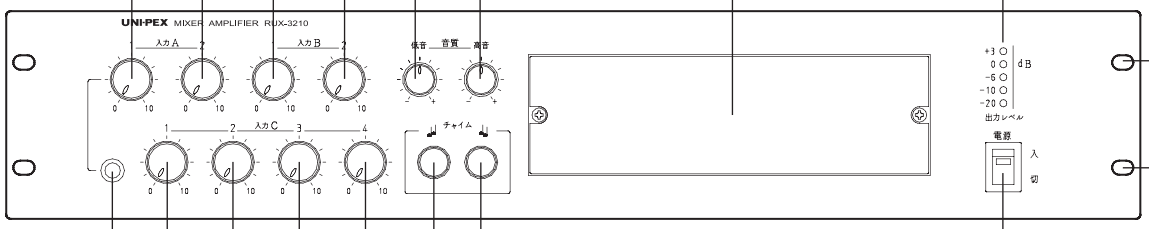
免責事項について

当社は下記の事項に関して一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
①お客さまの故意、過失、誤用、その他異常な条件下での使用による損害または本製品の破損など
②本製品に直接または間接に関連して生じた、偶発的、特殊的、または結果的損害・被害
③本製品のお客さまご自身による修理、分解または改造が行なわれた場合、それに起因するかどうかを問わず、発生した一切の故障または不具合により生じた損害
④本製品の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、使用ができないことなどによる不便・損害・被害
⑤第三者の機器と組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害

本機を長期間お使いの場合は

本機を安全に使用していただくために、販売店または工事業者による定期的な点検をおすすめします。
外観上は異常がなくても、使用条件によっては部品が著しく劣化している可能性があり故障したり、事故の原因となることがあります。下記❶～❹の様な状態ではないか日常的に確認してください。もしその様な状態を発見されましたら直ちに電源を切り（使用中止）、販売店または工事業者に点検や撤去をご依頼ください。
特に10年を超えて使用されている場合は、定期点検の回数を増やしていただくとともに買い換えの検討をお願いします。
❶煙が出たり、こげ臭いにおいや異常な音がしている。　❷電源コード・電源プラグが異常に熱い。または亀裂や傷がある。
❸本機に触れるとビリビリと電気を感じる。　❹電源を入れても音が出てこない、その他の異常・故障がある。

各部の名称と説明（前面）



A−1入力音量調節つまみ

A−2入力音量調節つまみ

B−1入力音量調節つまみ

B−2入力音量調節つまみ

低音音質調整つまみ
右へまわすと低音が強調され、
左へまわすと減衰します。
中央クリックがフラット位置です。

高音音質調整つまみ
右へまわすと高音が強調され、
左へまわすと減衰します。
中央クリックがフラット位置です。

電源スイッチ
「入」に押すと電源が入り、
電源表示灯が緑色に点灯します。

下りチャイムスイッチ（オプション用）

上りチャイムスイッチ（オプション用）
別売のエレクトロチャイムユニットEC-44取付け時に
チャイムスイッチとして使用します。

C−4入力音量調節つまみ

C−3入力音量調節つまみ

C−2入力音量調節つまみ

C−1入力音量調節つまみ

A−1入力ジャック
（−62dBV/−22dBV/−2dBV、600Ω、電子平衡）
後面にも入力ジャックがありますが、
前面の入力ジャックが優先されます。

ユニット入力(ブランクパネル)

別売ユニットを組み込むことができます。
詳細はP9「別売ユニットの組込方法について」の説明をご覧ください。組込方法についてはそれぞれのユニットの取扱説明書をご覧ください。

別売ユニット品番	品　名
AU-100	FM/AMラジオチューナーユニット
AU-203	CDプレーヤーユニット
AU-300	300MHz帯ワイヤレスチューナーユニット
AU-403	プログラムチャイムユニット
AU-500	SDレコーダーユニット
AU-800	800MHz帯ダイバシティワイヤレスチューナーユニット

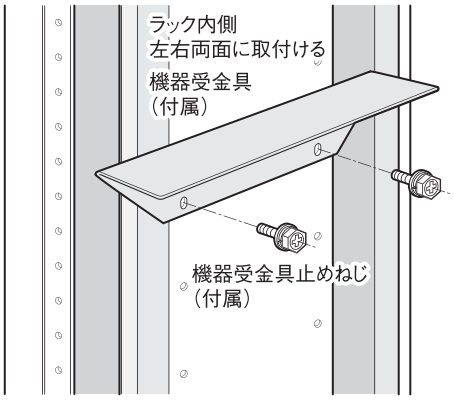
出力レベル表示灯

出力レベルの表示をします。緑色(0dB～−20dB)表示内が適正範囲内です。連続して赤色(+3dB)が点灯しないように各音量を調節してください。

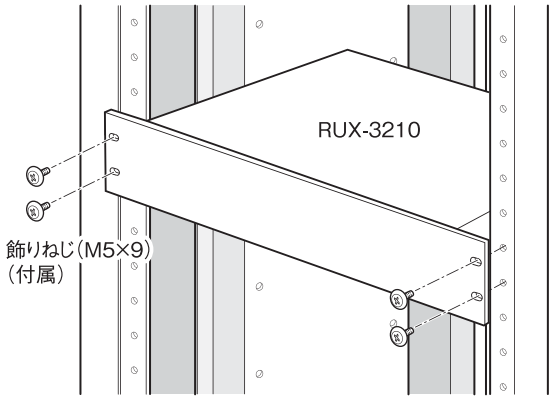
ラック取付穴

EIA規格(ユニバーサルピッチ)に準拠したラックに取り付け可能です。

1. 付属の機器受金具を機器受金具止めねじで取り付けてください。



2. 付属の飾りねじ(M5×9)でラックに取り付けます。



■音量調節つまみと入力端子対応表

音量調節つまみ	対応入力端子			
A−1入力音量調節つまみ	A−1入力ジャック	−62dBV/−22dBV/−2dBV	600Ω 電子平衡	3極大形単頭ジャック
A−2入力音量調節つまみ	A−2入力ジャック	−22dBV/−2dBV	600Ω 電子平衡	3極大形単頭ジャック
B−1入力音量調節つまみ	B−1入力ジャック	−62dBV/−22dBV/−2dBV	600Ω 電子平衡	3極大形単頭ジャック
B−2入力音量調節つまみ	B−2入力ジャック	−22dBV/−2dBV	600Ω 電子平衡	3極大形単頭ジャック
C−1入力音量調節つまみ	C−1入力ジャック	−12dBV	10kΩ 不平衡	ピンジャック
C−2入力音量調節つまみ	C−2入力ジャック	−12dBV	10kΩ 不平衡	ピンジャック
C−3入力音量調節つまみ	C−3入力ジャック	−22dBV	10kΩ 不平衡	ピンジャック
C−4入力音量調節つまみ	C−4入力ジャック	−22dBV/−2dBV	600Ω 電子平衡	3極大形単頭ジャック

各部の名称と説明(後面)

AC電源入力端子
付属のAC電源ケーブルを使用し、ACコンセントに接続してください。

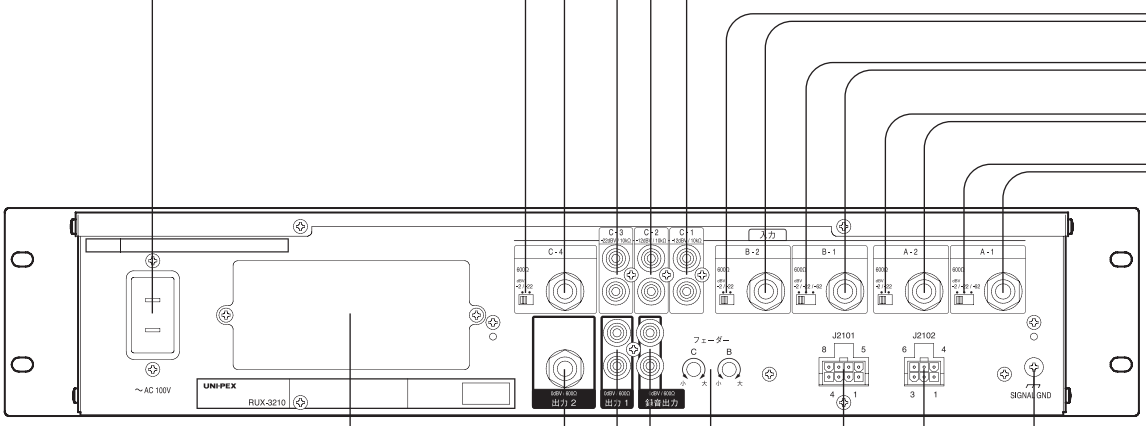
C−4入力感度切換スイッチ
(−2dBV/−22dBV)
C−4入力ジャックの入力感度を接続する機器に合わせて切り換えてください。

C−4入力ジャック
(−2dBV/−22dBV、600Ω、電子平衡)

C−3入力ピンジャック
(−22dBV、10kΩ、不平衡)

C−2入力ピンジャック
(−12dBV、10kΩ、不平衡)

C−1入力ピンジャック
(−12dBV、10kΩ、不平衡)



ブランクパネル
下記ユニットを取り付ける前に必ず両端のねじ2本をはずし、ブランクパネルを取りはずしてください。
詳細はP9「別売ユニットの組込方法について」の説明をご覧ください。

- AU-100 (FM/AMラジオチューナーユニット)
- AU-300 (300MHz帯ワイヤレスチューナーユニット)
- AU-403 (プログラムチャイムユニット)
- AU-800 (800MHz帯ダイバシティ ワイヤレスチューナーユニット)

出力ジャック2
(0dBV、600Ω、平衡)

出力ピンジャック1
(0dBV、600Ω、平衡)

録音出力ピンジャック
(0dBV/−20dBV(内部切換)、600Ω、不平衡)

フェーダー量調節つまみB、C
A入力ジャック(A−1、2)に信号が入力されたときのB入力信号(B−1、2)及びC入力信号(C−1〜4)、また、B入力ジャックに信号が入力された時のC入力信号の減衰量を調節します。
調節範囲は、0〜30dBです。
詳細はP8「本機の動作について」をご覧ください。

B−2入力感度切換スイッチ
（−2dBV/−22dBV）
B−2入力ジャックの入力感度を接続する機器に合わせて切り換えてください。

B−2入力ジャック
（−2dBV/−22dBV、600Ω、電子平衡）

B−1入力感度切換スイッチ
（−2dBV/−22dBV/−62dBV）
B−1入力ジャックの入力感度を接続する機器に合わせて切り換えてください。

B−1入力ジャック
（−2dBV/−22dBV/−62dBV、600Ω、電子平衡）

A−2入力感度切換スイッチ
（−2dBV/−22dBV）
A−2入力ジャックの入力感度を接続する機器に合わせて切り換えてください。

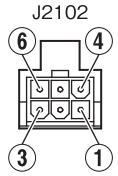
A−2入力ジャック
（−2dBV/−22dBV、600Ω、電子平衡）

A−1入力感度切換スイッチ
（−2dBV/−22dBV/−62dBV）
A−1入力ジャックの入力感度を接続する機器に合わせて切り換えてください。

A−1入力ジャック
（−2dBV/−22dBV/−62dBV、600Ω、電子平衡）
前面にも入力ジャックがあり、前面の入力ジャックが優先されます。

アース端子（雑音低減用）
本機に他の音響機器を接続するときなどで雑音低減の効果がある場合に、他方のアース端子に接続したり、接地してください。また静電気対策などのためにも接地することをお勧めします。

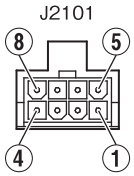
J2102制御用コネクター
基本制御端子盤ユニットRJK-3300のJ802と接続します。



J2102 制御コネクターのピン番号と機能

ピン番号	機　能	入力/出力	
①	ミキサー起動制御	入力	DC30V 100mA 以上
②	システム起動制御	出力	DC24V 100mA MAX
③	COM	−	−
④	N.C.	−	−
⑤	N.C.	−	−
⑥	N.C.	−	−

J2101制御用コネクター
割込制御、フェーダー制御、タイマー制御及びDC24V外部電源用のコネクターです。
（EL-3000シリーズでは使用しません。）



J2101 制御コネクターのピン番号と機能

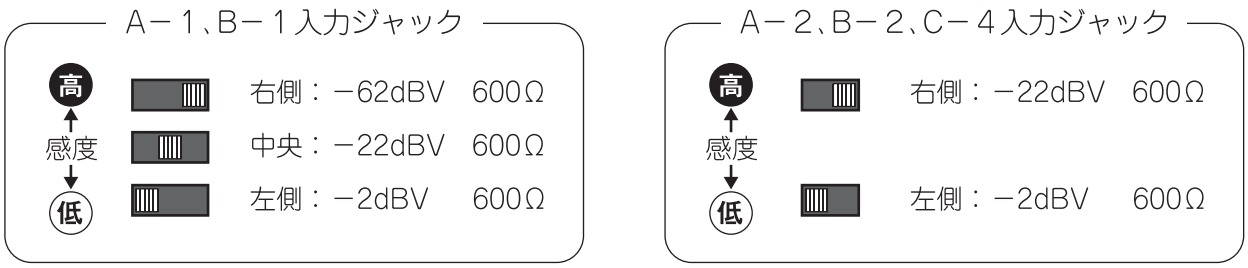
ピン番号	機　能	入力/出力	
①	割込制御	入力	DC30V 30mA 以上
②	フェーダー制御(B、C)	入力	DC30V 30mA 以上
③	フェーダー制御(C)	入力	DC30V 30mA 以上
④	タイマー制御(電源起動)	出力	別売ユニットの仕様による
⑤	タイマー制御(一斉制御)	出力	別売ユニットの仕様による
⑥	DC24V	入力	DC24V 600mA
⑦	COM	−	−
⑧	N.C.	−	−

本機の動作について

■入力感度の変更のしかた

ご使用になるマイクやプレーヤーなど各々の入力ジャックに接続する機器に合わせて入力感度を切り換えてください。

入力感度切換スイッチの設定位置

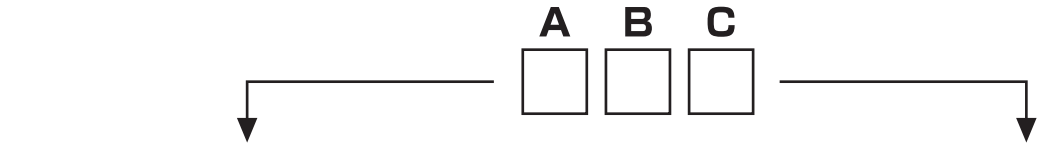


⚠注意
- **感度切換時は、必ずその入力のボリュームを最小にしてからスイッチを切り換えてください。ボリュームを最小にせずに切り換えますと、急に大きな音が出ることがあり、危険です。**
- **入力感度切換の際、各入力感度の中間位置でスイッチを止めますと誤った入力感度になることがあります。上記の図の位置（カチッと引っかかる部分）で止めてください。**

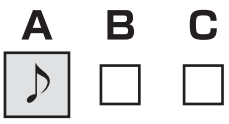
■オートフェーダー量の調節のしかた

本機には2段階のオートフェーダー回路があり、音声優先順位は以下のようになります。

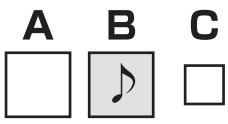
A入力(A－1、A－2) ＞ **B入力**(B－1、B－2) ＞ **C入力**(C－1～4)

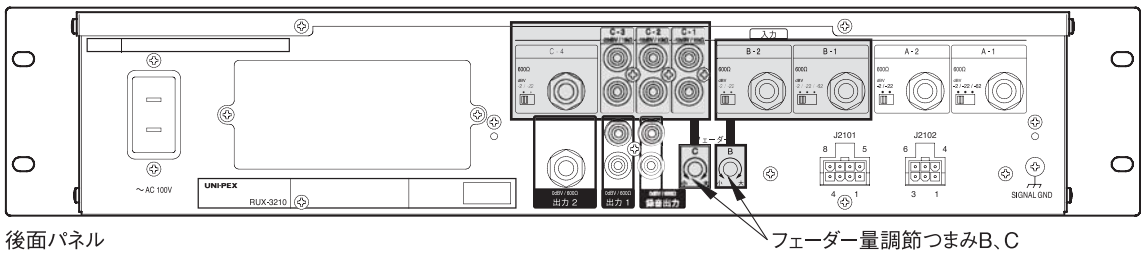


A入力ジャック(A－1、A－2)に信号が入ると、B入力ジャック(B－1、B－2)及びC入力ジャック(C－1～4)に入力される信号が減衰します。



B入力ジャック(B－1、B－2)に信号が入ると、C入力ジャック(C－1～4)に入力される信号が減衰します。





後面パネル

後面にあるフェーダー量調節つまみBをまわすとB入力ジャック(B－1、2)の減衰量を調節できます。
また、フェーダー量調節つまみCをまわすとC入力ジャック(C－1～4)の減衰量を調節できます。
減衰量は、0～30dBです。

※オートフェーダーでB入力時にC入力が減衰しないようにすることができます。
詳しくはP11「オートフェーダーでB入力時にC入力が減衰しないようにする場合」の説明をご覧ください。

別売ユニットの組込方法について

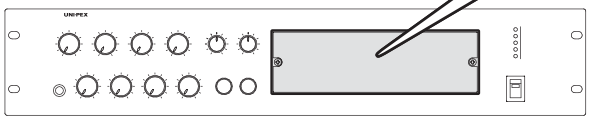
ユニット入力(ブランクパネル)には右表のユニットを組み込むことができます。
ご使用時は、各別売ユニットの取扱説明書を必ずご覧ください。

別売ユニット品番	品　名
AU-100	FM/AMラジオチューナーユニット
AU-203	CDプレーヤーユニット
AU-300	300MHz帯ワイヤレスチューナーユニット
AU-403	プログラムチャイムユニット
AU-500	SDレコーダーユニット
AU-800	800MHz帯ダイバシティワイヤレスチューナーユニット

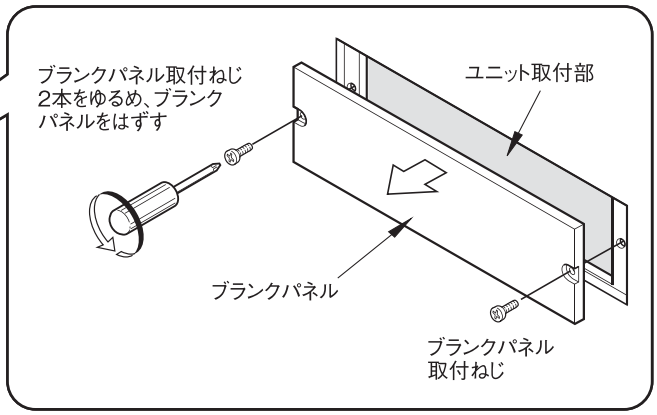
■別売ユニットの組み込みのしかた

1.ブランクパネルをはずす

本機のユニット挿入口のブランクパネルをはずしてください。

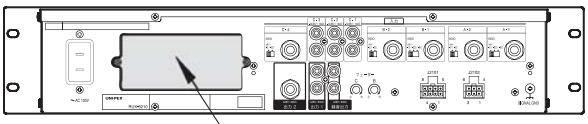


前面パネル



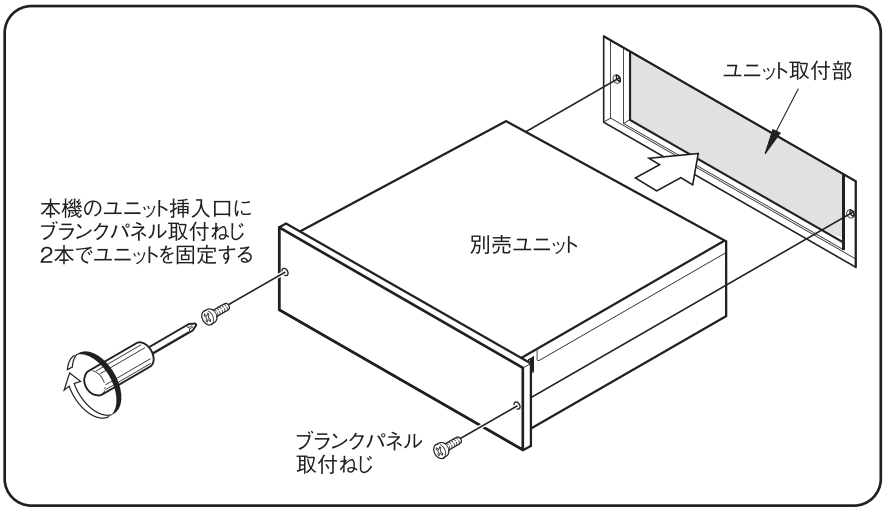
注意..

・AU-100、AU-300、AU-403、AU-800を使用する場合は、
ユニットを挿入する前に必ず後面のブランクパネルを取りはずしてください。



2.別売ユニットを組み込む

本機のユニット挿入口にユニットを差し込み、ブランクパネルを取付けてあったねじ2本で固定してください。

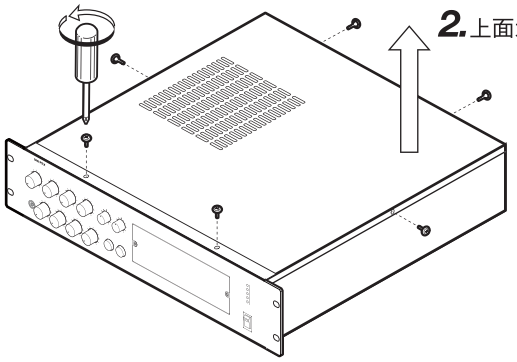


オプションの取付や初期設定の変更のしかた

■本機のトップカバーのはずしかた

本機のトップカバーを止めているねじ6本
(天面2本、後面2本、側面2本)をはずしてください。

1.所定の6カ所のねじをはずす。

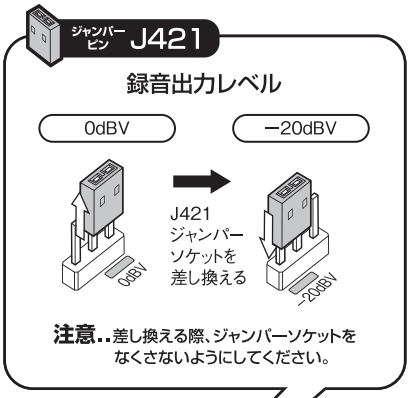


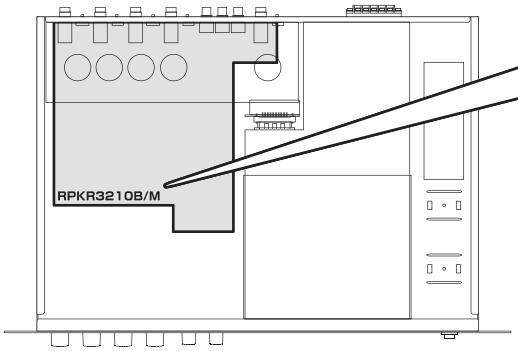
2.上面カバーをはずす。

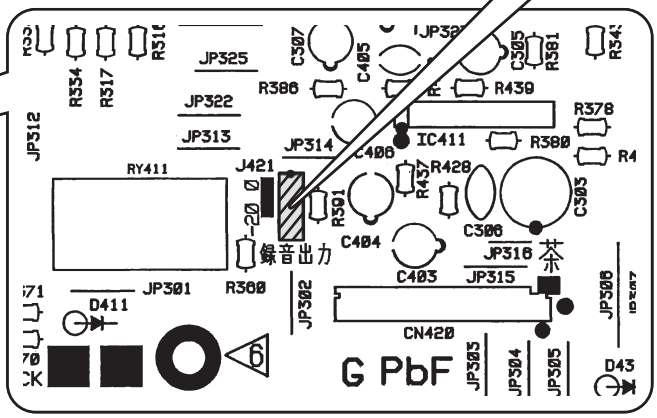
■録音出力レベルの切換のしかた

本機の録音出力は、出荷時のレベルは0dBVに設定してありますが、内部ジャンパーピンで−20dBVに変更することができます。図のように基板RPKR3210B/Mのジャンパーピン J421のソケットを差し換えてください。

※内部ジャンパーピンで−20dBVに変更を行っても、別売ユニットへの録音入力レベルは変更されません。

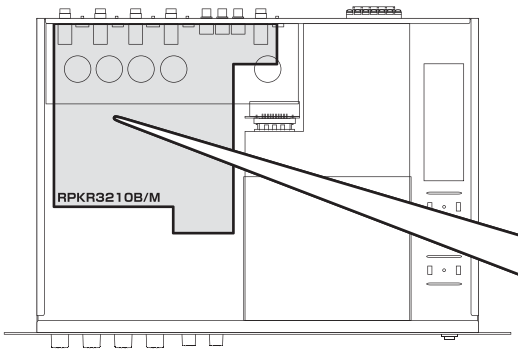


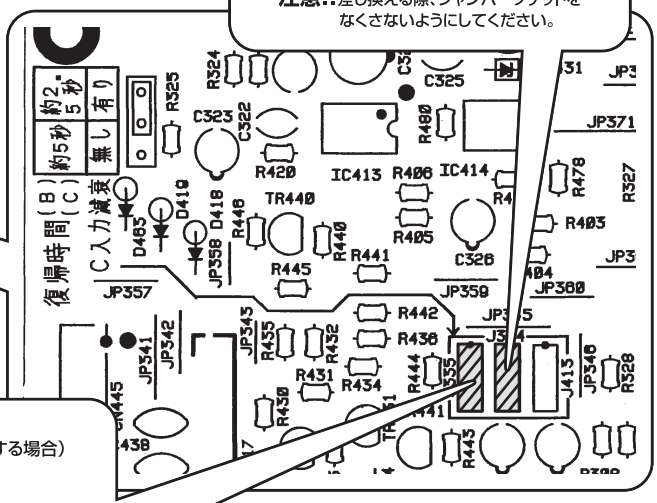




■オートフェーダー復帰時間の切換のしかた

オートフェーダーにより音声が減衰してから復帰するまでの時間を切換えることができます。
出荷時は、約2.5秒に設定されています。復帰時間を長くする場合（約5秒）は、図のように基板RPKR3210B/Mのジャンパーピン J335（A入力時のB、C入力の復帰時間を変更する場合）、J334（B入力時のC入力の復帰時間を変更する場合）のソケットを差し換えてください。

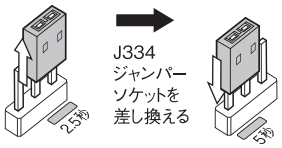




ジャンパーピン J334

オートフェーダー復帰時間
（B入力時のC入力の復帰時間を変更する場合）

約2.5秒　　約5秒

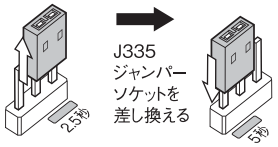


注意..差し換える際、ジャンパーソケットを
なくさないようにしてください。

ジャンパーピン J335

オートフェーダー復帰時間（A入力時のB、C入力の復帰時間を変更する場合）

約2.5秒　　約5秒

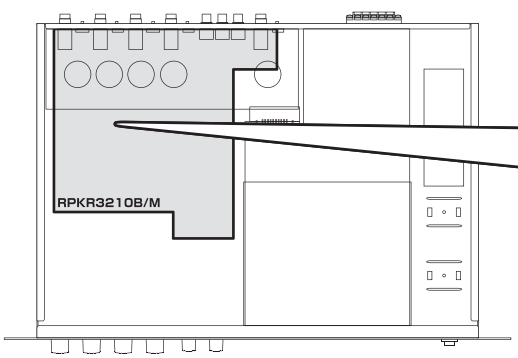


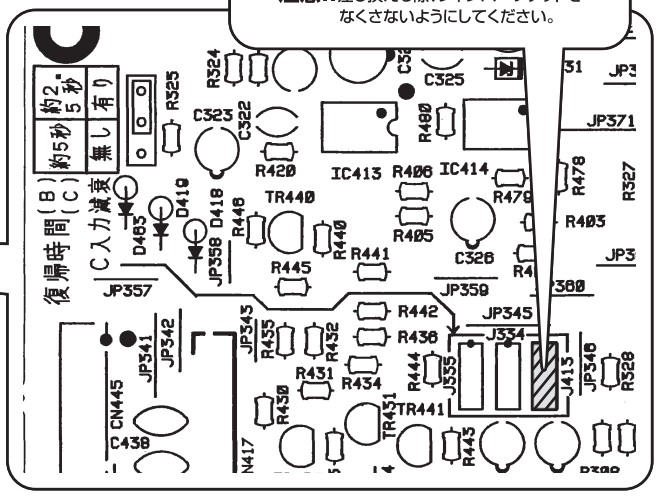
注意..差し換える際、ジャンパーソケットを
なくさないようにしてください。

■オートフェーダーでB入力時に C入力が減衰しないようにする場合

出荷時は、B入力時にC入力が減衰する設定になっています。C入力が減衰しないようにする場合は、図のように基板RPKR3210B/Mのジャンパーピン J413のソケットを差し換えてください。

※C入力の優先順位をB入力と同じに設定しても、
A入力時はB入力及びC入力が減衰します。

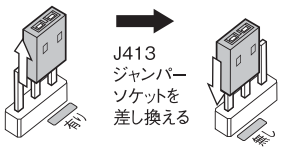




ジャンパーピン J413

オートフェーダーでB入力時、
C入力の減衰

有り（減衰する）　　無し（減衰しない）



注意..差し換える際、ジャンパーソケットを
なくさないようにしてください。

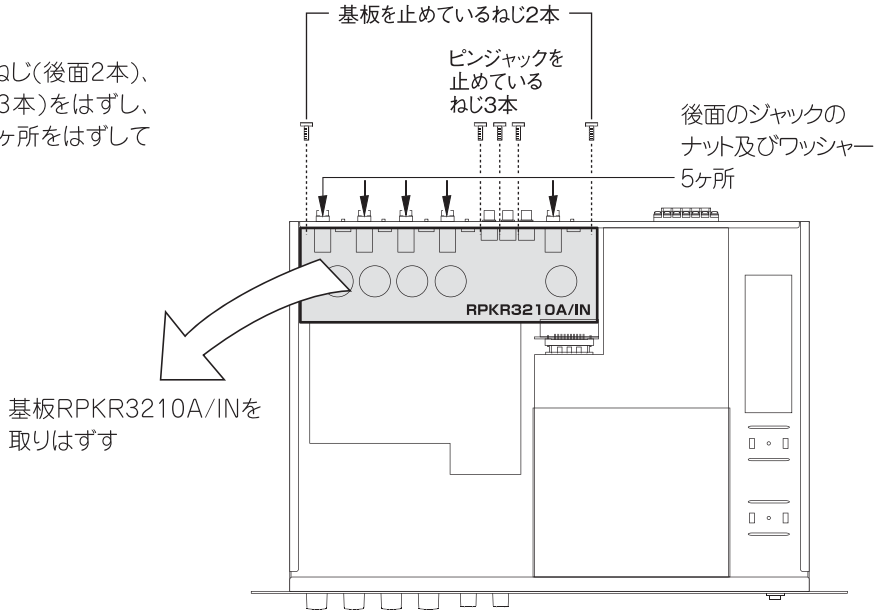
■別売の絶縁トランスの取り付けのしかた

本機の入力(A−1、A−2、B−1、B−2、C−4)には別売の絶縁(平衡)トランスLT-16を取り付けることができます。

⚠警告 ・火災、感電、けが、故障の原因となります。
絶縁トランスの取付は、
必ず販売先などにご依頼ください。

1. 基板RPKR3210A/INをはずす

基板RPKR3210A/INを止めているねじ(後面2本)、ピンジャックを止めているねじ(後面3本)をはずし、後面ジャックのナット及びワッシャー5ヶ所をはずして基板を取り出します。

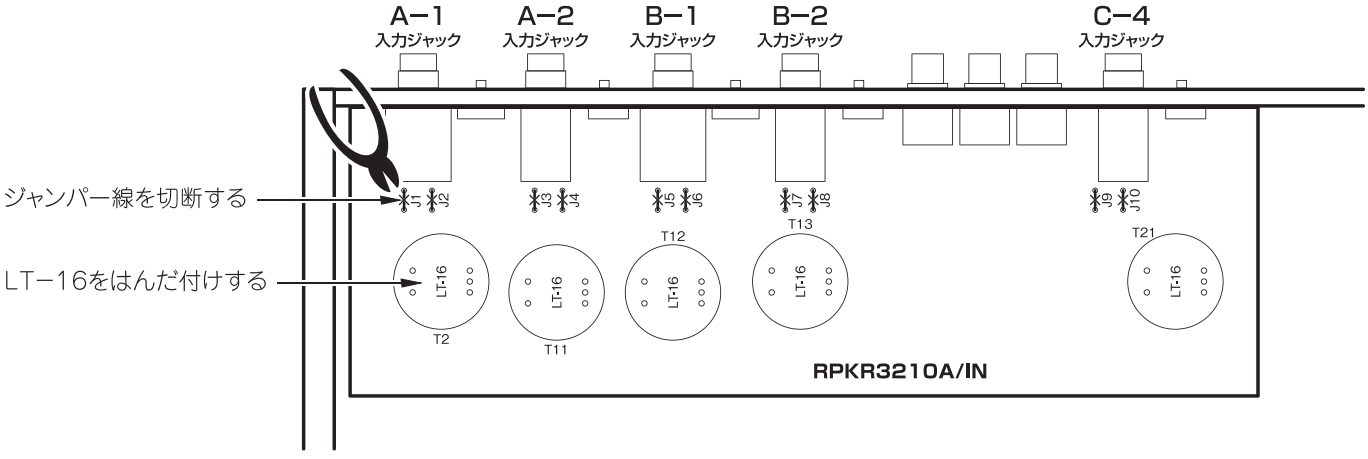


2. 絶縁(平衡)トランスLT-16を取り付ける

下表より、トランス(LT-16)取付箇所に対するジャンパー線を切断し、トランス(LT-16)をはんだ付けしてください。

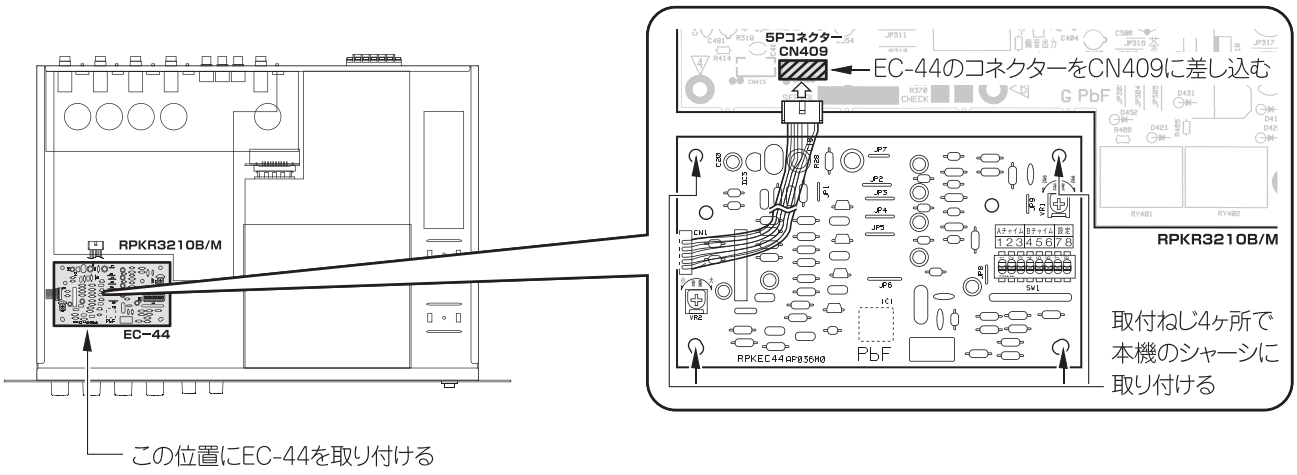
⚠注意 ・切断したジャンパー線が
他の部品に触れないようご注意ください。

入　力	A−1入力ジャック	A−2入力ジャック	B−1入力ジャック	B−2入力ジャック	C−4入力ジャック
トランス(LT-16)取付箇所	T2	T11	T12	T13	T21
切断するジャンパー線	J1 J2	J3 J4	J5 J6	J7 J8	J9 J10



■別売のエレクトロチャイムユニット（EC-44）の取り付けのしかた

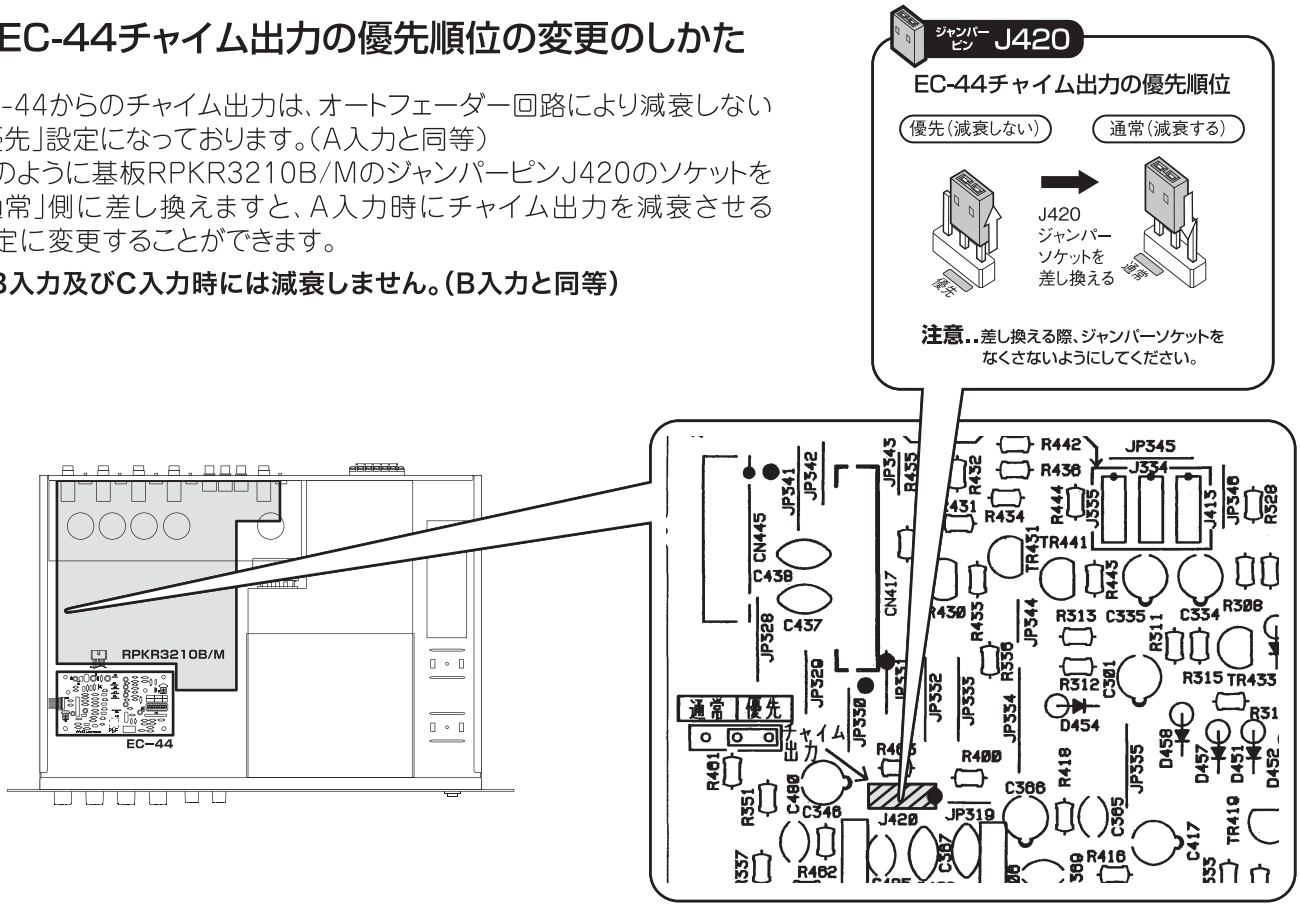
下図の位置にEC-44を本機のシャーシに取り付けてください。ねじはEC-44付属のねじをご使用ください。
EC-44のコネクターを基板RPKR3210B/Mの5PコネクターCN409に差し込んでください。
ご使用時は、EC-44の取扱説明書も必ずご覧ください。



■EC-44チャイム出力の優先順位の変更のしかた

EC-44からのチャイム出力は、オートフェーダー回路により減衰しない「優先」設定になっております。（A入力と同等）
図のように基板RPKR3210B/Mのジャンパーピン J420のソケットを「通常」側に差し換えますと、A入力時にチャイム出力を減衰させる設定に変更することができます。

※B入力及びC入力時には減衰しません。（B入力と同等）



故障かな?と思われましたら

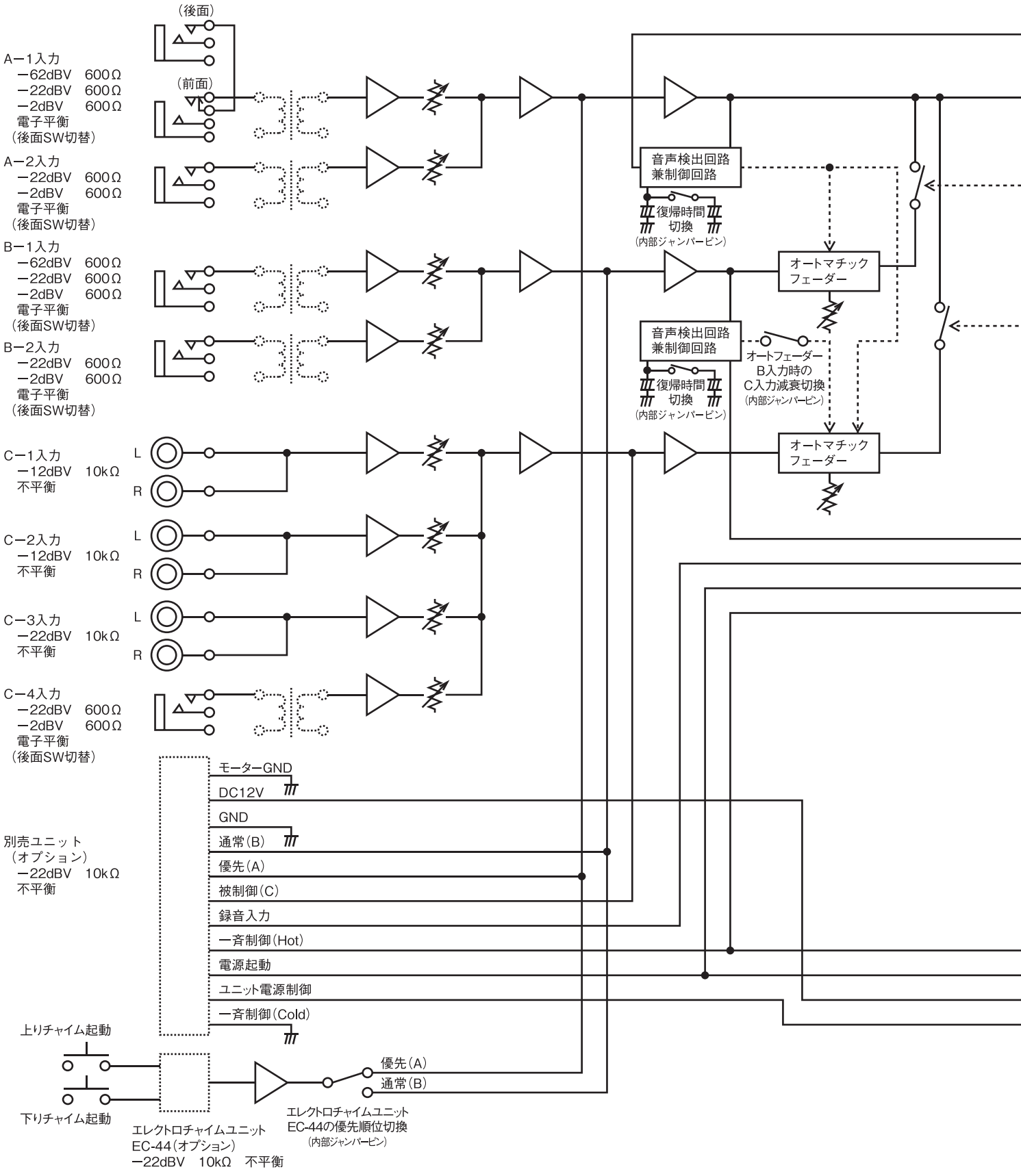
ほんのちょっとしたことで正常に動作せず、故障かな?と思うことがあります。
次の要領で点検してみてください。

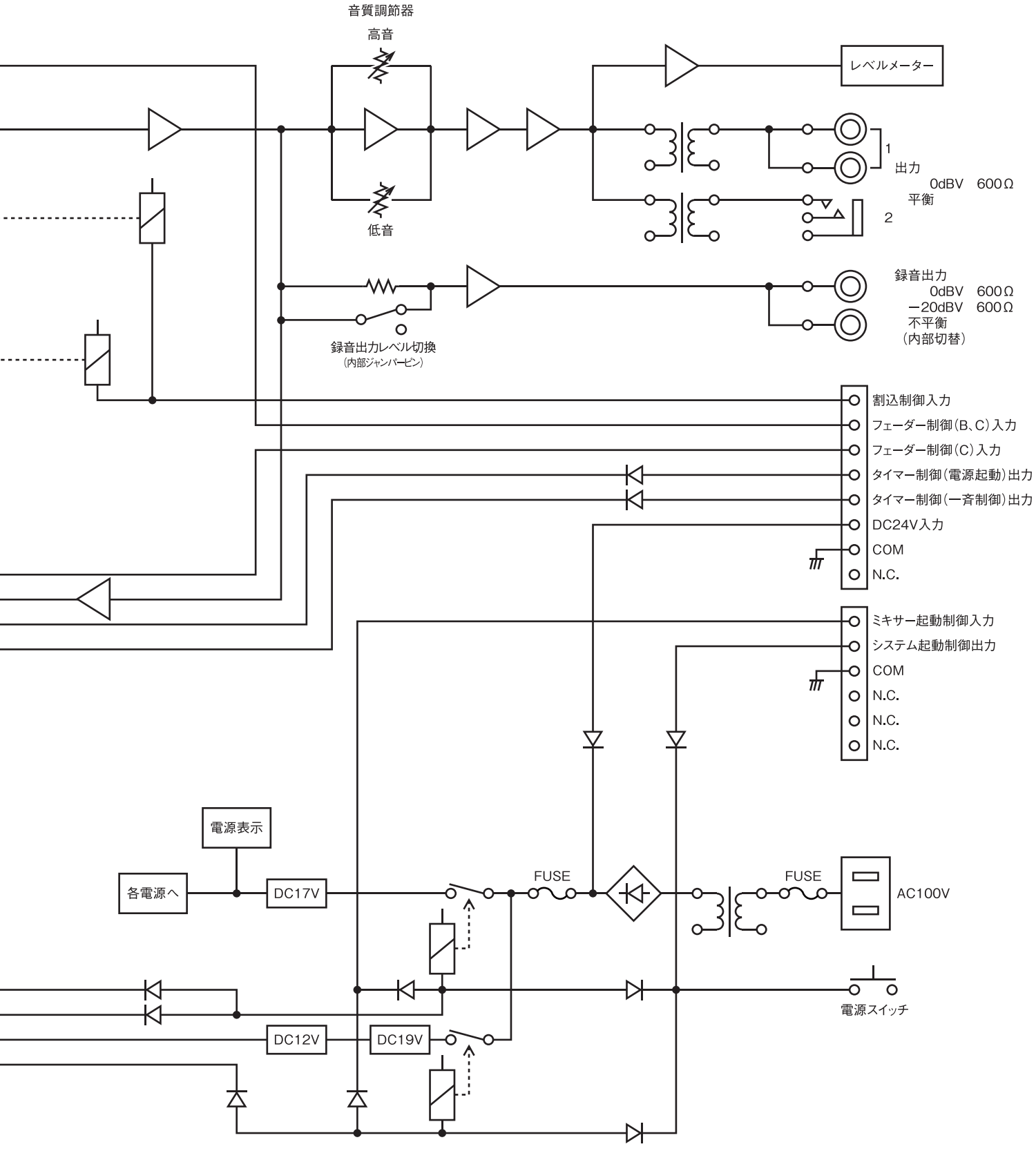
⚠警告
- **次の方法で点検されても正常に動作しないとき、または使用中に急に異常が発生したときは、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。煙などの異常が無いことを確認し、販売店などへご連絡ください。**
- **本機は絶対に分解しないでください。感電の恐れがあります。修理は、必ず販売店などにご依頼ください。**

症　　状	点検項目	対　　策
全く動作しない	電源が接続されていますか?	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	電源表示灯が点灯していますか?	電源スイッチを入れてください。
	電源スイッチは入っていますか?	電源スイッチを入れてください。
	各音量調節つまみが「0」の位置になっていませんか?	各音量を適度な音量に調節してください。
有線マイクの音声が出ない(小さい)	マイクのトークスイッチは入っていますか?	マイクのトークスイッチを入れてください。
	マイクプラグは確実に差し込まれていますか?	確認してください。
	マイクは正常ですか?	他のマイクと交換してください。
	音量調節つまみが「0」の位置になっていませんか?	適度な音量に調節してください。
	入力感度切換スイッチの設定に間違いはありませんか?	確認してください。
	外部アンプとの接続に間違いはありませんか?	確認してください。
接続機器の音が出ない	入力音量調節つまみが「0」の位置になっていませんか?	適度な音量に調節してください。
	外部アンプとの接続に間違いはありませんか?	確認してください。
接続機器の音が小さい(大きい)	接続機器と本機の入力感度はあっていますか?	確認してください。
	接続機器をA−1、A−2、B−1、B−2、C−4入力ジャックに接続している場合、入力感度切換スイッチの設定に間違いはありませんか?	確認してください。
音が割れる	出力レベル表示灯の赤色LEDが常時点灯していませんか?	赤色LEDが常時点灯しないように音量を調節してください。
音がおかしい	各音質調整(低音、高音)つまみの設定に間違いはありませんか?	適度な音質に設定してください。 詳細はP4の音質調整つまみの説明をご覧ください。
雑音が発生する	本機やスピーカーコード、マイクコードなどがノイズを発生する機器の近くにありませんか?	ノイズを発生する機器から遠ざけてください。
音が小さくなる	オートフェーダー機能が動作していませんか?	本機はオートフェーダー機能を搭載しています。 オートフェーダー機能には優先順位があり、優先順位の高い入力が入ると優先順位の低い入力の信号が減衰します。減衰量は後面にあるフェーダー量調節つまみで変更ができます。オートフェーダー機能が働いている場合はフェーダー量調節つまみを回し適度な減衰量に調節してください。詳細はP8「オートフェーダー量の調節のしかた」をご覧ください。
B入力(B−1、2)及びC入力(C−1〜4)の音が出ない	J2101制御コネクター①番ピン(割込制御)に制御信号を入力していませんか?	本機は割込制御機能を搭載しています。割込制御機能はJ2101制御用コネクター①番ピン(割込制御)に制御信号を入力することにより動作し、B入力(B−1、2)及びC入力(C1〜4)の入力信号をミュートします。お困りの症状の場合、制御コネクターの結線を確認してください。

症　　状	点検項目	対　　策
チャイムスイッチを押してもチャイム音が出ない	別売のエレクトロチャイムユニット（EC-44）を取り付けましたか?	エレクトロチャイムユニット（EC-44)はオプション品となりご購入当初は取り付けられていません。必要に応じ別売のエレクトロチャイムユニットを取り付けてください。詳細はP13「別売のエレクトロチャイムユニット（EC-44）の取り付けのしかた」をご覧ください。
別売のエレクトロチャイムユニット（EC-44）のチャイム音が小さい（大きい）	別売のエレクトロチャイムユニット（EC-44）の音量調節はしましたか?	別売のエレクトロチャイムユニット（EC-44）の音量を本機で調節する機能はありません。音量調節が必要な場合、エレクトロチャイムユニット（EC-44）で調節を行ってください。詳細はエレクトロチャイムユニット（EC-44）の説明書をご覧ください。
別売ユニットの音が出ない	別売ユニットを正しく取り付けていますか?	別売ユニットによっては前面のブランクパネルだけでは無く、後面のブランクパネルをはずす必要があります。詳細はP9「別売ユニットの組込方法について」をご覧いただき、極端に出っ張ったり傾いたりしないように組み込んでください。
別売ユニットの音が小さい（大きい）	別売ユニットの音量調節はしましたか?	別売ユニットの音量を本機で調節する機能はありません。音量調節が必要な場合、別売ユニットで調節を行ってください。詳細は別売ユニットの説明書をご覧ください。

ブロックダイヤグラム

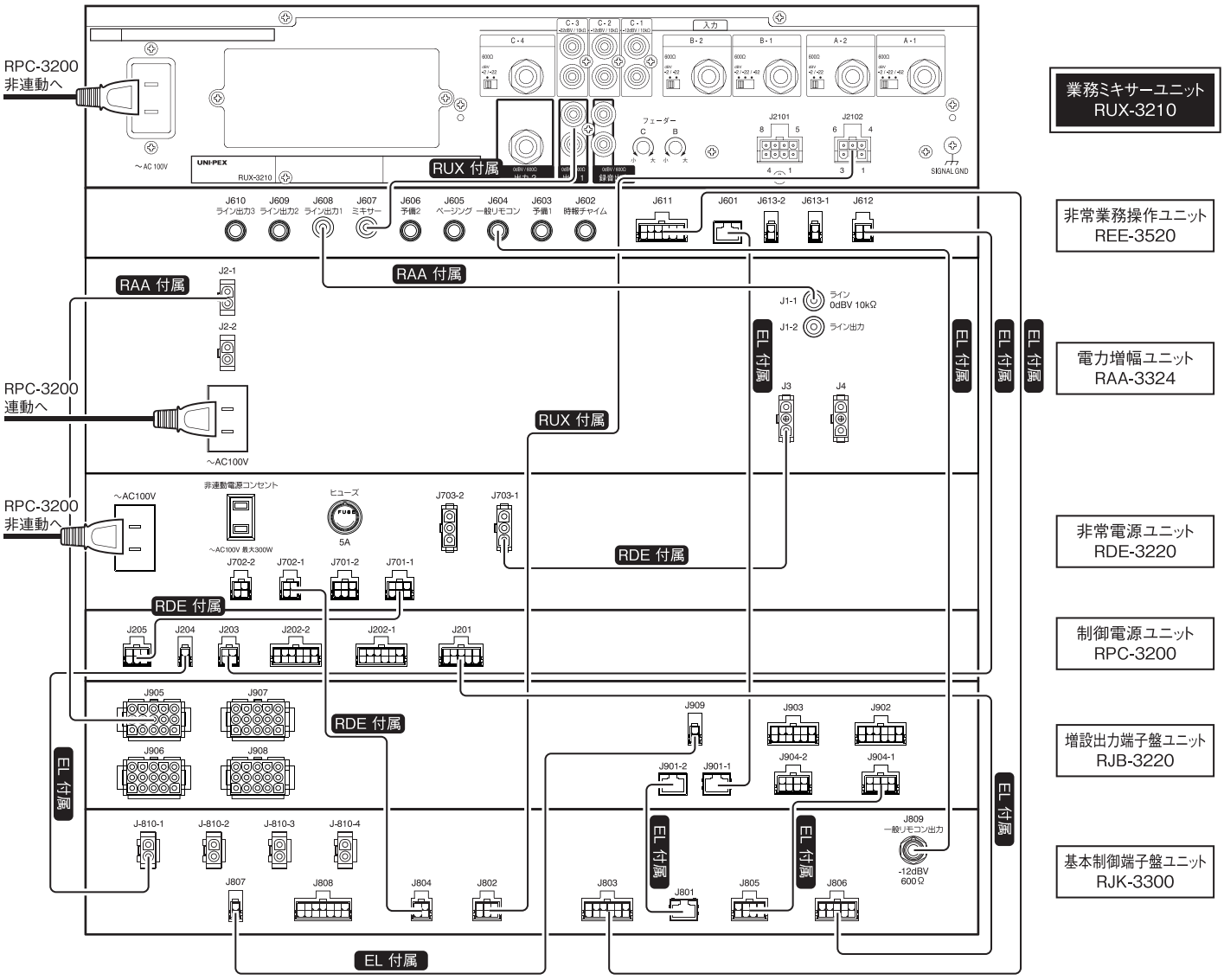

（後面）
（前面）
A－1入力
－62dBV　600Ω
－22dBV　600Ω
－2dBV　600Ω
電子平衡
（後面SW切替）
A－2入力
－22dBV　600Ω
－2dBV　600Ω
電子平衡
（後面SW切替）
B－1入力
－62dBV　600Ω
－22dBV　600Ω
－2dBV　600Ω
電子平衡
（後面SW切替）
B－2入力
－22dBV　600Ω
－2dBV　600Ω
電子平衡
（後面SW切替）
C－1入力
－12dBV　10kΩ
不平衡
L
R
C－2入力
－12dBV　10kΩ
不平衡
C－3入力
－22dBV　10kΩ
不平衡
C－4入力
－22dBV　600Ω
－2dBV　600Ω
電子平衡
（後面SW切替）
別売ユニット
（オプション）
－22dBV　10kΩ
不平衡
モーターGND
DC12V
GND
通常（B）
優先（A）
被制御（C）
録音入力
一斉制御（Hot）
電源起動
ユニット電源制御
一斉制御（Cold）
上りチャイム起動
下りチャイム起動
エレクトロチャイムユニット
EC-44（オプション）
－22dBV　10kΩ　不平衡
優先（A）
通常（B）
エレクトロチャイムユニット
EC-44の優先順位切換
（内部ジャンパーピン）
音声検出回路
兼制御回路
復帰時間
切換
（内部ジャンパーピン）
オートマチック
フェーダー
音声検出回路
兼制御回路
復帰時間
切換
（内部ジャンパーピン）
オートフェーダー
B入力時の
C入力減衰切換
（内部ジャンパーピン）
オートマチック
フェーダー


音質調節器
高音
低音
レベルメーター
1
出力
0dBV 600Ω
平衡
2
録音出力
0dBV 600Ω
−20dBV 600Ω
不平衡
（内部切替）
録音出力レベル切換
（内部ジャンパーピン）
割込制御入力
フェーダー制御（B、C）入力
フェーダー制御（C）入力
タイマー制御（電源起動）出力
タイマー制御（一斉制御）出力
DC24V入力
COM
N.C.
ミキサー起動制御入力
システム起動制御出力
COM
N.C.
N.C.
N.C.
電源表示
各電源へ
DC17V
FUSE
FUSE
AC100V
電源スイッチ
DC12V
DC19V

接続例

■ラック形非常用放送設備(EL-3000シリーズ)との接続例

20回線 ＜ 緊急用RDE：無し　240Wアンプ：1台 ＞



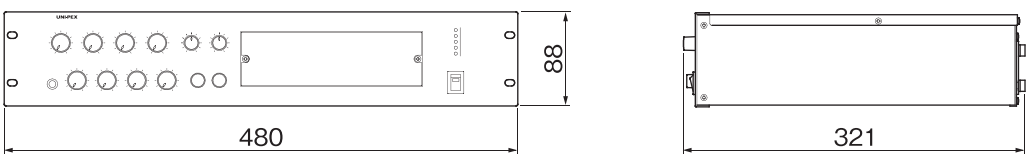
⚠注意 ・接続は必ず電源をOFFにしてから行ってください。
また、その入力のボリュームを最小にしてから接続してください。

定格

使用電源	AC 100V 50/60Hz、DC24V
定格消費電力	21W（電気用品安全法に基づく）
消費電流	AC 300mA / DC 600mA（定格出力時）
出力	出力 1：0dBV 600Ω 平衡 ピンジャック×2 出力 2：0dBV 600Ω 平衡 3極大形単頭ジャック 録音出力：0dBV 600Ω 不平衡 ピンジャック×2 （内部ジャンパーピンで−20dBVに切換可）
ひずみ率	0.5%以下
周波数特性	50Hz～15kHz 偏差±2dB（1kHz基準）
音質調整	低 音：100Hz ±10dB（1kHz基準） 高 音：10kHz ±10dB（1kHz基準）
入力感度及びインピーダンス	A−1 ：−62dBV/−22dBV/−2dBV 600Ω 電子平衡 （平衡トランス取付可） 音量調節器付 A−2 ：−22dBV/−2dBV 600Ω 電子平衡 （平衡トランス取付可） 音量調節器付 B−1 ：−62dBV/−22dBV/−2dBV 600Ω 電子平衡 （平衡トランス取付可） 音量調節器付 B−2 ：−22dBV/−2dBV 600Ω 電子平衡 （平衡トランス取付可） 音量調節器付 C−1 ：−12dBV 10kΩ 不平衡 音量調節器付 C−2 ：−12dBV 10kΩ 不平衡 音量調節器付 C−3 ：−22dBV 10kΩ 不平衡 音量調節器付 C−4 ：−22dBV/−2dBV 600Ω 電子平衡 （平衡トランス取付可） 音量調節器付
信号対雑音比	60dB以上（A−1,B−1の入力感度が−62dBVのとき） 65dB以上（上記以外のとき）
動作表示	電源表示：緑（電源スイッチ部） 出力表示：5ポイントLEDレベルメーター（緑×4/赤×1）
付帯機能	①電源スイッチにより、ラック組込みの電源制御ユニットの電源起動が可能。 ②A−1入力端子は、パネル面と後面の2ヶ所にあり、パネル面が優先。 ③オートフェーダー機能により、優先順位の高い信号が入力されると、優先順位の低い信号は減衰される。 （減衰量は後面のフェーダー調節つまみにより0～30dBの減衰量に調節可能） ④A入力（A−1、2）以外の音声をカットする割込制御が可能。ただし、ラック型非常用放送設備に接続した場合は、この機能は無効とする。 ⑤A−1、B−1の入力感度を3段階に切換可能（−62dBV/−22dBV/−2dBV）。 A−2、B−2、C−4の入力感度を2段階に切換可能（−22dBV/−2dBV）。
使用温度範囲	−10℃～+60℃ エレクトロチャイムユニット（EC-44）組込時は−10℃～+50℃、その他のユニット組込時は0℃～+40℃
使用湿度範囲	85%以下 FM/AMラジオチューナーユニット（AU-100）、プログラムチャイムユニット（AU-403）組込時は20%～85%
外装	パネル、ケース：マンセルN4.5 近似色グレー
外形寸法	幅 480mm 高さ 88mm 奥行 321mm
質量	約4.9kg
付属品	取扱説明書（保証書付） 1、AC電源ケーブル（2m） 1、ピンプラグ付コード（2m） 1、制御ケーブル（6P−6P、3m） 1、 ヒューズ（1A、20mm） 1、飾りねじ（M5×9） 4、機器受金具 2、機器受金具止めねじ（M4×8） 4
付加機能	①別売ユニット組込可能 ②エレクトロチャイムユニット（EC-44）組込可能

外観寸法図

（単位mm）



業務用ミキサーユニット RUX-3210

保証書

製造番号	
保証期間	お買い上げ日 平成　　年　　月　　日より 電子回路部1ヶ年、ケース(外装部) 6ヶ月
お客様	お名前　　様 ご住所〒 電話(　　)　　-
販売店	店名・住所　　印 電話(　　)　　-

複写

本書は本書記載内容で無料修理を行なうことを保証するものです。
お買い上げの日から上記期間内に故障が発生した場合は本書を提示のうえ、
お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

製造元 日本電音株式会社
発売元 ユニペックス株式会社
〒573-1132 大阪府枚方市招提田近3-6 TEL.(072)855-3334(代)

保証規定

この保証書は日本国内においてのみ有効です。この保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
(This warranty is valid only in Japan)

無料修理保証の範囲

①保証期間内において、取扱説明書などに従った正常な使用状態において故障した場合に無料で修理いたします。
②修理の際は必ず保証書の提示があること。
③当保証書の所定項目に必要事項が記入され、故意に字句を訂正していないこと。

無料修理保証の免責範囲

(次のような場合は保証期間内でも有料修理となります。)
①使用上の誤り及びお取扱いの乱用などによる故障、磨耗。
②不当な修理改造による故障、損傷。
③正常なご使用でも、消耗部品の自然消耗、磨耗、劣化によるもの。
④お買上げ後の落下、傷など、お取り扱い上に起因するもの。
⑤火災、水害、落雷、地震、その他の天災によるもの。また塩害、有毒ガス、異常電圧などが原因の損傷。
⑥故障の原因が本製品以外の機器の影響によるもの。
⑦常識的に正常な動作状態であるにもかかわらず、修理または部品交換などの要求をされる場合。